



グローバル人材を育てる
目玉事業、
ニュージーランドとカナダの
海外研修が突然の中止！
30号はこの問題を
取り上げます。

Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第30号

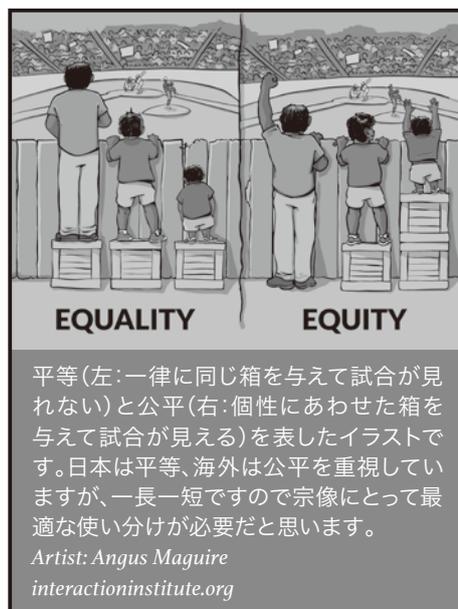
宗像ならではのグローバル人材とは？

国際化の進展と経済・社会の変化に伴い、産官学でグローバル人材育成が進められました。宗像市は専門部署を立ち上げ、2020年には第2期宗像市グローバル人材育成プランが策定されましたが、同年3月の予算審議でニュージーランドとカナダの海外研修が突然中止となることになりました。強く疑問を感じ、6月定例会の一般質問において、宗像ならではのグローバル人材をどう育成するか、宗像の教育と子育てはどこを目指すのか、議論しました。

宗像市は「特定の子しか参加できない海外研修はやめて、全員が参加できるイングリッシュキャンプをやる」という事業選択を行い、「グローバルを題材に広く平等に教育して、ベースアップをしていく」というような考えですが、私は<宗像ならではのグローバル人材育成は公平に機会を与えるべき。希望者には海外研修の機会を準備して出光佐三氏のような突出した人材を育てようとするべき>と主張しました。

日本の教育は平等を重視しますが、海外では、成績や能力が高い子には、さらに伸ばすための特別な機会が与えられます。個性を重視して異なる学習機会を提供する教育であり、個々のニーズに合った資源を効果的に分配し提供する、公正な在り方が最適な教育だと考えられます。

宗像ならではのグローバル人材を育成するためには、平等に参加する機会があることを前提に、さらに挑戦したい意欲を持つ子に実体験の機会を用意することが必要です。そして、経験し成長した人材が周囲に影響を与えてまた人材が育つようにたくさんの成長機会を作りたいと考えます。



平等(左:一律に同じ箱を与えて試合が見れない)と公平(右:個性にあわせた箱を与えて試合が見える)を表したイラストです。日本は平等、海外は公平を重視していますが、一長一短ですので宗像にとって最適な使い分けが必要だと思えます。

Artist: Angus Maquire
interactioninstitute.org

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

 日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

 吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

 一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて

海外研修中止について議論しました

ニュージーランドとカナダの海外研修はグローバル人材育成の目玉事業でした。

ニュージーランド研修は約30年間交流を続けている現地交流校。ホームステイや学校交流を通して海外を体験します。

カナダ研修はトヨタ自動車と宮若市との3者連携事業として海外で活躍する要素を学びます。外国の暮らしや文化を直接体験できる事業として、毎年多くの子どもたちが応募し、選考試験を経て参加した子どもたちは大きく成長して帰国してきました。

「中止にする理由」とく私の反論>

中止にする理由	私の反論
外国が身近になり機会が増えた	ならばなぜ、内向きの若者が問題になりグローバル人材の育成が必要とされるのか？余裕のない子育て世代に対して行政が海外のハードルをさげるべき！
特定の子どもたちしか参加できず成果の広がりが見えない。 費用対効果が問われる	長い目でみるべき人材育成をどの時点で費用対効果が悪いと判断するのか？そもそも教育に費用対効果を求めるのか？ODOGとつながりを持ち、効果を検証するべき！

そして、以下の問題点を指摘しました。

- ①30年間続けたマウントロスキル校との交流や3者連携事業を切ることは、今まで積み上げたレガシーと信頼関係を失う
- ②参加者の兄弟、友達に波及効果が確認できているのに、つながりと参加希望者の目標を失わせる
- ③選ばれる都市になるために、若い世代や子育て世代への発信力を失う

海外研修の中止は単に手段の変更ではなく、グローバル人材の存在意義、そして本市の教育と子育てのスタンスの問題だと考えます。

いろいろな年代に平等に機会を与えてきっかけをつくることはすでに出来ています。教育・子育てを重要視する本市は、さらに海外研修によって公平に成長できる機会も準備して、戦略的に子育て世代に選ばれる都市ブランドの確立し、他都市との差別化を図るべきだと考えております。



宗像市議会議員 吉田 郷

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
令和2年 宗像市議に三選を果たす
現 在 宗像市久原に在住

吉田郷 議員活動ダイジェスト

- 4月 新年度が始まります。コロナ禍で式典は中止ですが、新しい門出をお祝いします。昨年卒業の大学生は、大学に行けない、人に会えない、という状況でつながりも情報も無いという状況だったそうです。今年は学生生活謳歌できればいいのですが。
- 5月 ゴールデンウィークも行事はほぼ中止なので、家の周りで野イチゴとったり、竹炭つくったり、梅林や竹林の整備で汗をながしました。
- 6月 田熊山笠の総決起集会、東郷小学校での山笠教室が始まりました。今年は山笠は作りますが、動かしません。東郷小学校の子どもたちが、イセキング、農協、コミセンの協力のもと、麦を作り、収穫、乾燥させてっぼう作りをしました。